

施策目標 :

中東地域の安定と繁栄の確保を目指し、域内諸国・地域間における未来に向けた友好関係を構築し、日本にとって望ましい国際環境を確保すること。

施策評価 (総括) :

中東地域は、日本を含む国際社会にとって主要なエネルギー供給源の一つであり、ホルムズ海峡などの重要航路における航行の安全確保を含む同地域の平和と安定は、エネルギー安全保障や世界経済の安定と成長に極めて重要である。一方で、ガザ情勢やイラン情勢の緊迫化を始めとする中東地域の諸課題が噴出し、引き続き予断を許さない状況である。事態の早期沈静化、人道状況の改善、そして中長期的な平和と安定の確立の必要性が一層高まっている。

このような観点から、「中東地域の安定化に向けた働きかけ」及び「中東諸国との関係強化」という2つの分野を通じ、継続的な政治的働きかけや復興・人道支援により地域の安定化に貢献するとともに、経済関係の強化や信頼関係の醸成に向けた重層的な関係構築を推進した。その結果、両分野に掲げる目標が一定程度実現され、対中東地域外交の必要性及び有効性が確認された。よって、施策目標は妥当であり、今後とも同目標を維持し、域内諸国・地域との対話・協力枠組みの強化や中東地域の平和と安定に向けた働きかけなどの取組を推進する。

外部有識者の所見 (概要) :

- 中東地域外交は、エネルギー安全保障、ホルムズ海峡の航行安全、人道危機対応の観点から、日本外交の重要施策であり、目標の妥当性は高い。様々な取組が行われ、その成果の概要は評価書によくまとめられている。また、情勢の変化を踏まえ、イラン情勢への対応を詳細に記載したことも評価できる。
- ガザ情勢への対応、パレスチナ支援、パレスチナ開発のための東アジア協力促進会合 (CEAPAD) の再活性化、イラク・アフガニスタン支援に加え、イランとの独自の対話チャンネルを維持し、緊張緩和や邦人保護に努めた点は評価できる。
- 極めて難しい局面下での外務大臣のイスラエル・パレスチナ訪問、イスラエル・パレスチナ合同青年招へい事業の3年ぶりの再開は高く評価される。
- パレスチナ支援として、令和5年10月のガザ情勢緊迫化以降の約4億1,000万ドルの人道支援及び復旧・復興支援、CEAPAD閣僚級会合の開催、中東和平の実現に向けた国際的取組の主導、イラク復興支援、総額1億500万ドルのアフガニスタン緊急人道支援及び国際機関を通じた300万ドルの緊急無償資金協力の実施、アフガニスタンにおけるG7で唯一の常設の大使館の維持、シリア及び周辺国への支援、特にヨルダンに対する毎年1億ドルの財政支援、エジプトの医療機関などに対する無償資金協力の実施などは外交的努力・戦略的外交として高く評価される。
- ガザ地区、イラン、紅海・ホルムズ海峡、シリアなどの危機が連動し、中東地域の情勢は一層複合化している。今後は、人道・復興支援にとどまらず、エネルギー供給、海上交通、危機管理、地域安定化を結びつけた戦略的関与を強化する必要がある。
- イスラエル・パレスチナ間の信頼醸成、アフガニスタンのタリバーン「暫定政権」による人権抑圧的政策への対応、イランとの意思疎通体制、ホルムズ海峡問題などの難しい課題について、更なる外交的努力の積み上げに期待する。ホルムズ海峡の閉鎖リスクを踏まえ、苦境に陥る中東産油国に対し、インフラ投資や技術支援を通じた関係強化も重要な課題となる。

施策 I - 5 : 中東地域外交

【参考】予算額・執行額等	区分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
施策の予算額・執行額等 （分担金・拠出金除く）	予算の状況	128	126	153
	執行額	87	91	99
同（分担金・拠出金）	予算の状況	160	1,732	2,908
	執行額	160	1,732	2,906

（注）百万円単位。当初予算、補正予算、繰越し等を含む。

令和6年度中東 における対日世論調査結果



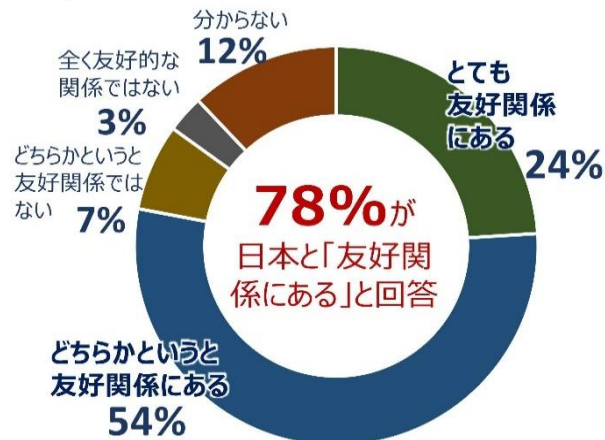
調査対象国：アラブ首長国連邦、イラン、エジプト、サウジアラビア、チュニジア、トルコ、ヨルダン
調査対象者：18歳～69歳の男女4,000名
調査方法：電話調査
調査期間：2024年10月-12月 調査機関：Ipsos

※回答の比率は四捨五入のため合計が100%にならない場合があります。

2025年3月14日

I. 対日関係

Q. あなたの国と日本は現在どのような関係にあると思うか。



II. 信頼関係

Q. あなたの国の友邦として、今日の日本は信頼できると思うか。

*75%≒とても信頼できる20.4%+どちらかという信頼できる54.4%=74.8%



III. 平和国家としての日本の歩み

Q. 日本の平和国家としての歩みについてどう思うか。

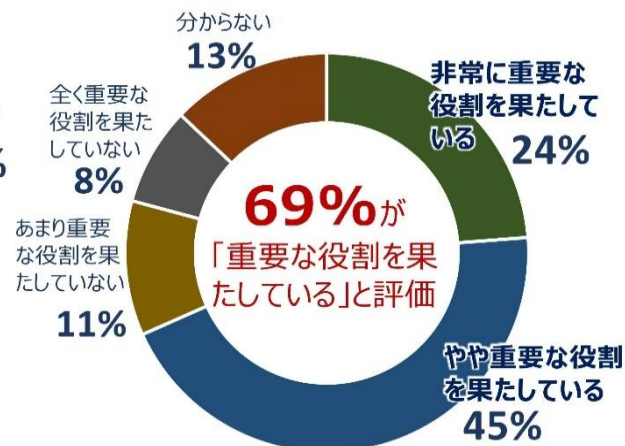


IV. 日本の役割と貢献

Q. 日本は世界経済の安定と発展にどの程度重要な役割を果たしていると思うか。



Q. 日本は国際秩序の安定（含む法の支配、自由民主主義、自由貿易体制）にどの程度重要な役割を果たしていると思うか。



V. 今後の重要なパートナー

Q. 今後重要なパートナーとなるのは次の国・機関のうちどの国・機関か。（複数回答可）

